

研究実施に関する情報公開

臨床研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。

この研究においては、患者様のカルテに記載された臨床データを研究資料として使用させていただきます。患者様には臨床データ利用の目的と趣旨をご理解いただきますようお願い申し上げます。また、研究対象者となる患者様は研究実施されることに拒否することができます。その場合は産科婦人科スタッフ又は、下記問い合わせまでご連絡下さい。

研究課題名： 子宮体癌におけるリンパ管侵襲・静脈侵襲の個別評価の意義
研究期間： 倫理審査委員会承認後～2017年3月末
対象材料： 診療記録情報、手術標本
目的： 子宮体癌における再発リスク因子の一つである 脈管侵襲（血管やリンパ管の中にがん細胞が入り込むこと）の有無は重要と考えられています。子宮体癌の脈管侵襲を調べる際に、リンパ管への侵襲と静脈への侵襲をそれぞれ個別に評価することは、リンパ節転移の予測、転移・再発形式、さらに予後に関して有用な情報が提供されると推測されます。さらに、予後因子としても、術後補助療法（術後の抗がん剤治療等）の適応や再発好発部位に関してより有用な情報が得られると考えられます。この研究では、子宮体癌におけるリンパ管への侵襲と静脈への侵襲をそれぞれ個別に評価することの有用性を明らかにすることを目的としています。
研究対象： 琉球大学医学部附属病院 産婦人科にて、2006年から2014年の期間に子宮体癌の根治的手術療法を行った患者様。
方法： この研究は、既に過去に手術が行われた上記研究対象の患者様の診療記録と手術標本から、調査を行い研究するものです。この調査研究ではお名前、住所、電話番号、カルテ番号等の個人を特定できるような情報は伏せられたままデータを集計しますので、患者様のプライバシーは厳重に守られます。
問い合わせ： 琉球大学医学部附属病院 産科婦人科医 〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原 207 Tel:098-895-1177 Fax:098-895-1426 研究責任医師：青木 陽一